

アソカ講話039

テーマ「思いと仕組み・システム」

11月初め、新居浜において「グレードアップケア研修会が開催された。私達介護に携わる多くの方は「思い」から入ってくる。お年寄りに喜んでほしい・・・ただその思いで入ってくる。だから、お年寄りの介護にシステムや仕組みを導入することに抵抗感を持つ介護職も少なくない。

「介護に高度な仕組みはいらない。介護はシステム通りいかないわよ。システムを覚える時間があるのならお年寄りに寄りそうことの方が大切よ、人間はシステムではないわ・・・」そんな声が聞こえてきても不思議ではない。そんな悩めるあなたに向けての答えが、この研修にはあった。

私達は「ご利用者の笑顔のためにという思い」から出発して「ご利用者の笑顔」がケアのゴールでもある。では、仕組みやシステムは何のためにあるのか、それはあなたの大切な思いを形にするためにあるもの。一人ひとりの思いを結実させるために不可欠な道具。「思い」を「本物の思い」にするために必要な媒体・・・そう研修を受講して教えられた。思いだけでは絵に描いた餅に終わるか、途中で挫折するか、職員がバラバラな思いでケアをしてしまう。そこに橋を架け、思いを結実させるのがシステムであり、仕組みである。